



はっとり
ただし
服部 正先生
(教頭)



- ①ギター
- ②伝統と歴史ある宮原小学校に赴任させていただきました。元気で素直な「宮原っ子」、協力的で熱いPTAの皆様に触れ、私の「宮原小愛」も日々大きく成長しております。子どもたちが安全安心で充実した学校生活を送り、これまで以上に地域に愛され信頼される「地域とともにある学校」となるように尽力していきます。

やまぐち
きみとし
山口 公敏先生
(校長)



- ①旅行・温泉巡り・スポーツ全般
- ②今年度玉名から来ました校長の山口公敏です。歴史ある宮原小学校で新任校長として精一杯頑張ります。あいさつ・そうじ・発表・そして笑顔、一人ひとりを大切にをモットーに236名の子どもたちの瞳が輝くよう全職員で力を合わせて誠心誠意努力していきます。

【宮原小学校】

いのうえ
ももか
井上 桃花先生
(特別支援教育支援員)



- ①書道・バドミントン
- ②たくさん思い出のある母校で働けることを心から嬉しく思います。今年大学を卒業してわからないことばかりですが、元気いっぱいな竜西っ子の子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう精進していきたいと思います。よろしく願い致します。

ふくしま
きょうこ
福島 恭子先生
(ひまわり学級)



- ①野球観戦
- ②我が子がお世話になった学校に勤務することになり驚きと喜びで異動してきました。宮原小学校の子どもたちとの日々の触れ合いを大切にし、子どもたちのために頑張っていきたいと思っています。よろしく願いします。

なす
きょうこ
那須 京子先生
(たんぽぽ学級)



- ①旅行・読書
- ②八代市立東陽小学校から来ました、那須京子です。氷川町での勤務は初めてなので、子どもたちに教えてもらいながら、町のことをいろいろ勉強していきたいと思っています。あちこち探検しているところを見かけたら、声をかけてください。どうぞよろしくお願い致します。

いわもと
かずこ
岩本 和子先生
(人権教育主任・T.T)



- ①山登り
- ②宮地小からきました。定年まであと3年ということで、宮原小が教職生活最後の学校になると思います。子どもたちのエネルギーをもらいながら、元気で仕事に励み子どもたちにとって居心地のいい学校になるよう頑張ります。

おかさき
さゆり
岡崎 小百合先生
(特別支援教育支援員)



- ①旅行・裁縫
- ②このたび、特別支援教育支援員として宮原小学校でお世話になることになりました。慣れないところも多いですが、先生方のパワーをいただいて子どもたちと一緒に成長できればと思っています。よろしく願いします。

いたひら
あさこ
板平 麻子先生
(特別支援教育支援員)



- ①特にありません
- ②昨年度までは竜北東小学校にお世話になりました。今年度から宮原小学校で勤務することになり、まだ緊張の連続です。新たな出会いを大切にして、子どもたちと楽しく勉強したいと思っていますので、よろしく願いいたします。

みやがわ
ふみよ
宮川 文代先生
(4年2組担任)



- ①読書
- ②芦北町の田浦小学校から赴任してきました。「明るく、楽しく、元気よく」子どもたちが学校生活を過ごせるよう取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。

A/16

音楽を通した潤いのひととき

希望『チャリティーin氷川』

このイベントは、熊本地震から1年が経ち、復興へ向け努力されてきた皆さまに、音楽を通して潤いのひと時をとの思いで木村由紀子さん（上鹿島）らが主催されました。

ステージではギター演奏や日本舞踊のほか、上田智子さん（今）や尾上奈奈さん（上鹿島）、コーラスグループのコール氷川が美しい歌声で会場を大いにわかれました。また、日本で数人しかいないハンドフルート奏者の一人である高山大知さんも演奏をされ、客席からのアンコールにも応えられました。参加した人からは「音楽は楽しい。来年もぜひ開催してほしい」との声が多く聞かれました。

なお、このイベントで集

*

氷川町文化センターにおいて希望『チャリティーin氷川』が開催されました。



▲ハンドフルート奏者の高山大知さん



▲素敵なお歌声で会場を沸かせた尾上奈奈さん(上鹿島)

まったチケット代と寄付金は地震復興に使ってほしいとすべて町に寄付されました。

A/18

税徴収強化を目指して

熊本県と税の併任徴収協定を締結

水川町役場庁議室で水川町と熊本県による税の併任徴収協定の締結が行われ、町長から熊本県南広域本部収税課職員9人に対して辞令が交付されました。

町と県が協力し税収と徴収技術の向上を目的としています。

今後は、税徴収業務の強化やアドバイス、差押えや公売などの併任徴収の取り組みを行っていきます。

*



▲税滞納の削減を目指します

A/16

愛好家たちが腕を競う

第12回いちご杯ヘラブナ釣り大会in氷川

不知火干拓貯水池（若洲）において第12回いちご杯ヘラブナ釣り大会in氷川が開催され、町内外から104人の参加がありました。

天気にも恵まれ絶好の釣り日和の中、早朝から参加者たちの竿がずらりと並び、その腕を競いました。

競技終了後には参加者全員に和鹿島いちごのプレゼントがありました。

*



▲見て！大物釣ったよ！